明石工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	建築意匠Ａ

科目基礎情報

科目番号	0034	科目区分	専門 / 必修
授業形態	演習	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	建築学科	対象学年	2
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	教科書：図解 ニッポン住宅建築―建築家の空間を読む、コンパクト建築設計資料集成と建築のしくみ(1年設計1と同じ)その他:授業中に配布する		
担当教員	大塚 毅彦,東野 アドリアナ		

到達目標

建築に関する情報の検索と収集ができる。目標の実現に向けて自らを律して行動できる。立体的の表現（透視投象、模型）ができる。建築図面の作成に必要な構図・表現技法を理解し、使うことができる。ソフトウェアを用い、画像を編集できる。ソフトウェアを用い、建築の各種図面の意味を理解し、描けることができる。建築意匠の基礎概念を取得し、建築を批評的に意見をも述べることができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
建築意匠の基礎概念	建築意匠の基礎概念の理解が良くできる	建築意匠の基礎概念の理解ができる。	建築意匠の基礎概念の理解ができない。
ソフトウェア(Adobe CS)の基本操作を理解	ソフトウェアを用い、建築の各種図面の意味を理解し、描けることが良くできる	ソフトウェアを用い、建築の各種図面の意味を理解し、描けることができる。	ソフトウェアを用い、建築の各種図面の意味を理解し、描けることができない。
図面作成に必要な構図・表現技法	建築図面の作成に必要な構図・表現技法を理解し、使うことが良くできる。	建築図面の作成に必要な構図・表現技法を理解し、使うことができる。	建築図面の作成に必要な構図・表現技法を理解し、使うことができない。
批評的意見	建築を批評的に意見をも述べることが良くできる。	建築を批評的に意見をも述べることができる。	建築を批評的に意見をも述べることができない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 (D) 学習・教育到達度目標 (F)

教育方法等

概要	２０世紀を中心に名住宅建築と建築家について情報を検索し、収集する。名住宅建築図面と模型の作成を通して建築意匠の基礎概念を習得し、批評的に建築意匠について説明ができる。ソフトウェア(Adobe CS)の基本操作を理解し、図面を作成することができる。建築図面作成に必要な構図・表現技法が演習課題を通じて構図のスキルを身につける。
授業の進め方・方法	演習課題を通して、建築意匠の基礎概念と建築表現技術を身につける。AdobeCS系ソフトを利用して建築を２次元（図面上）で表現する。模型を製作し、建築を３次元（立体的）に表現できる
注意点	本科目は、授業外での学修時間が単位数に含む、各課題の製作には十分な 時間を確保し、提出期限に遅れないよう注意する。　合格の対象としない欠席条件(割合) 1/3以上の欠課

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	授業進行の説明 建築家につて調べ、動画にまとめる　（情報４）	書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。目標の実現に向けて自らを律して行動できる。
		2週	20世紀名住宅課題説 ソフトウェア（イラレ）の基本操作	ソフトウェアを用い、建築の各種図面の意味を理解し、描けること。
		3週	20世紀名住宅　illustratorを用いて図面作成（情報４）	立体的の表現（透視投象）ができる。
		4週	20世紀名住宅　illustratorを用いて図面作成（情報４）	ソフトウェアを用い、画像を編集できる。
		5週	20世紀名住宅　外観スケッチ提出　（情報４）	ソフトウェアを用い、建築の各種図面の意味を理解し、描けること。
		6週	20世紀名住宅　外観スケッチ図面スキャン、Photoshop編集（情報４）	ソフトウェアを用い、建築の各種図面の意味を理解し、描けること。
		7週	20世紀名住宅　模型を作成（情報４）	各種模型材料（例えば、紙、木、スチレンボードなど）を用い、図面をもとに模型を製作できる。
		8週	前期中間試験 建築家紹介動画発表	日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。
	2ndQ	9週	20世紀名住宅　模型提出　写真撮影　（情報４）	模型の撮影、写真の編集ができる
		10週	20世紀名住宅　模型提出　写真撮影　（情報４）	模型の撮影、写真の編集ができる
		11週	20世紀名住宅　住宅を批評的に説明　（情報４）	建築意匠の基礎概念を習得し、批評的に建築意匠について説明ができる。
		12週	文字のレイアウト 構図の演習問題	建築図面の作成に必要な構図・表現技法を理解する
		13週	20世紀名住宅　本作成　（情報４）	チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。目標の実現に向けて計画ができる。
		14週	20世紀名住宅　本作成　（情報４）	チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。目標の実現に向けて計画ができる。
		15週	20世紀名住宅　本作成　（情報４）	チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。目標の実現に向けて計画ができる。
		16週	期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	設計・製図	製図用具の特性を理解し、使用できる。	5	前3,前4,前5,前6,前9,前10

				線の描き分け(3種類程度)ができる。	5	前3,前4,前5,前6,前9,前10
				文字・寸法の記入を理解し、実践できる。	5	前3,前4,前5,前6,前9,前10
				建築の各種図面の意味を理解し、描けること。	5	前3,前4,前5,前6,前9,前10
				図面の種類別の各種図の配置を理解している。	5	前3,前4,前5,前6,前9,前10
				図面の尺度・縮尺について理解し、図面の作図に反映できる。	5	前3,前4,前5,前6,前9,前10
				立体的な発想とその表現(例えば、正投象、単面投象、透視投象などを用い)ができる。	5	前3,前4,前5,前6,前9,前10
				ソフトウェアを用い、各種建築図面を作成できる。	5	前2,前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				各種模型材料(例えば、紙、木、スチレンボードなど)を用い、図面をもとに模型を製作できる。または、BIMなどの3D-CADにより建築モデルを作成できる。	5	前7,前9
				与えられた条件をもとに、コンセプトがまとめられる。	1	
				与えられた条件をもとに、動線・ゾーニングのエスキスができる。	1	
				与えられた条件をもとに、配置図、各階平面図、立面図、断面図などがかける。	1	
				設計した建築物の模型またはパースなどを製作できる。	1	
				講評会等において、コンセプトなどをまとめ、プレゼンテーションができる。	1	前13,前14,前15
				敷地と周辺地域および景観などに配慮し、配置、意匠を検討できる。	1	
				建築の構成要素(形と空間の構成)について説明できる。	5	前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前13,前14,前15
				建築における形態(ものの形)について説明できる。	5	前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前13,前14,前15

評価割合

	課題	試験	発表（動画）	態度	合計
総合評価割合	85	5	10	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0
専門的能力	85	5	0	0	90
分野横断的能力	0	0	10	0	10